

令和2年度木質チップ等生産会員実態調査結果

平成31年度各協会別 取扱量(出荷量)

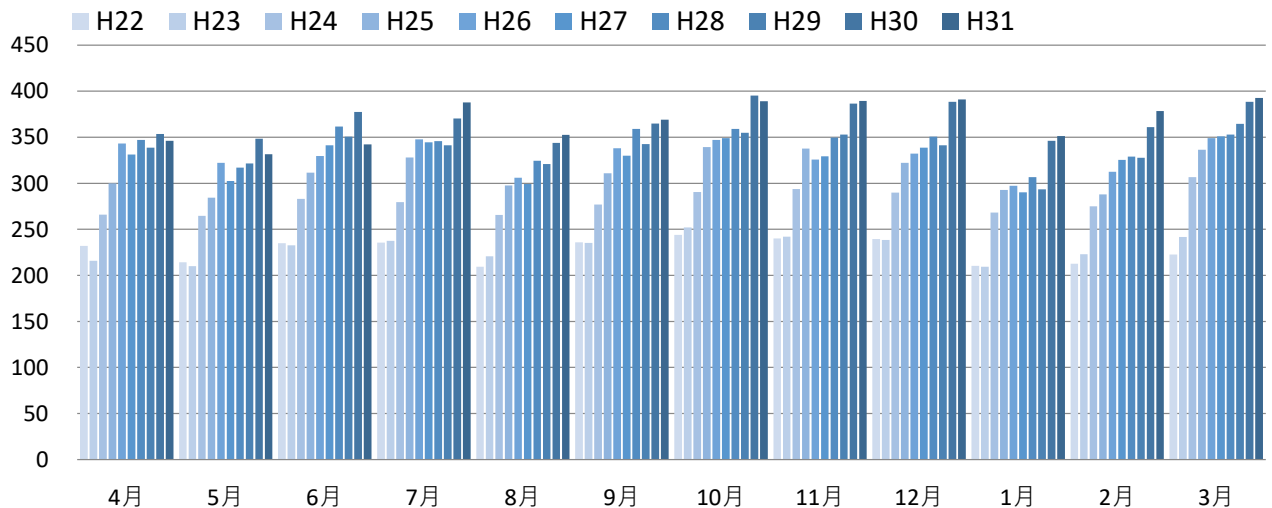
H31.4~R2.3

単位:千t

	北日本協会 53社	関東協会 60社	東海協会 13社	近畿協会 10社	中四国協会 17社	九州協会 5社	合計158社
4月	50	164	52	44	13	23	346
5月	47	154	53	42	11	25	332
6月	52	161	50	43	12	25	342
7月	58	182	57	46	15	29	388
8月	54	162	57	41	14	25	353
9月	55	172	60	46	14	23	369
10月	54	185	63	48	14	25	389
11月	58	182	62	47	15	26	389
12月	62	183	59	46	16	26	391
1月	54	162	53	42	15	25	351
2月	55	180	59	44	14	26	378
3月	58	188	61	46	15	24	393
合計	657	2,075	685	534	169	302	4,422

単位:千t

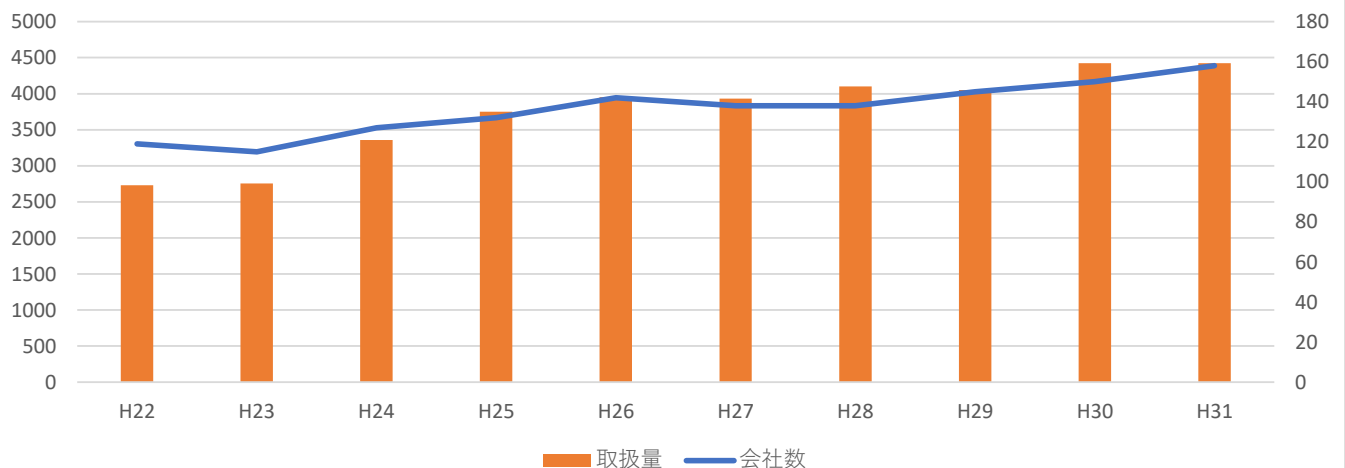
月別取扱量



単位:千t

年間取扱量 推移

会社数

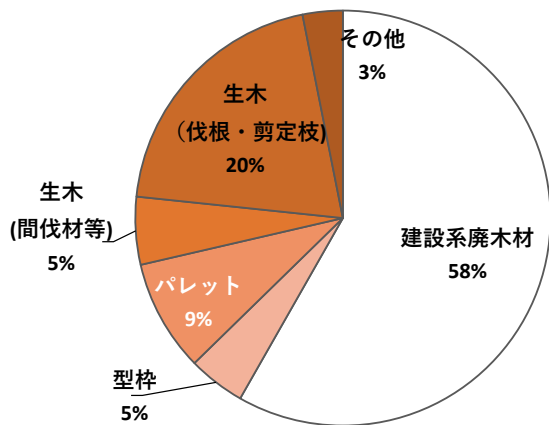


全国木材資源リサイクル協会連合会地域協会会員品目別取り扱い量(H31年度) 単位:千t

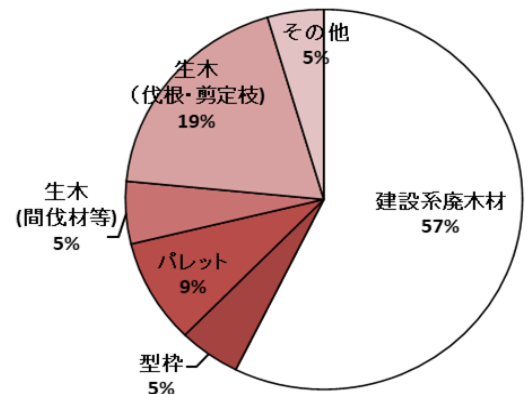
	北日本協会	関東協会	東海協会	近畿協会	中四国協会	九州協会	全国
有効回答数	53	60	11	8	15	5	152
建設系廃木材	280	1244	440	358	63	154	2,541
型枠	18	101	30	31	5	9	194
パレット	32	176	68	58	17	28	379
生木 (間伐材等)	125	54	15	4	17	15	230
生木 (伐根・剪定枝)	142	461	84	58	56	81	882
その他	37	92	6	0	0	1	136
合計	634	2,128	643	510	159	288	4,363

入荷量より算出

H31年度の廃木材の品目別取扱割合



H30年度の廃木材の品目別取扱割合

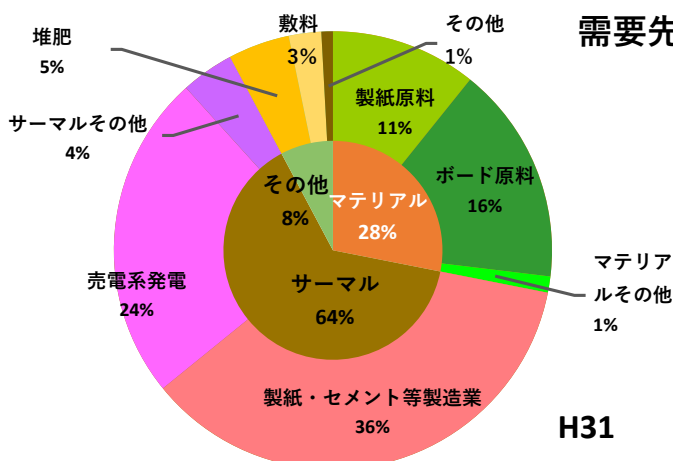


生産割合について(H31年度)

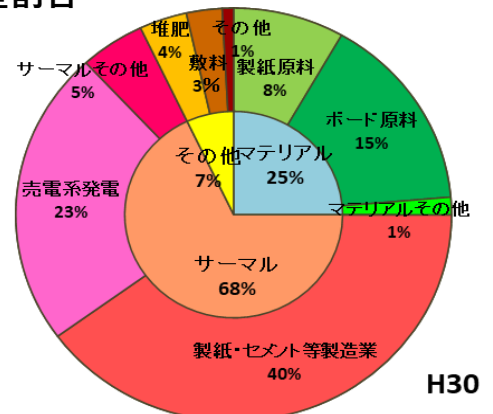
単位:千t

	北日本	関東	東海	近畿	中四国	九州	合計(全国)
有効回答数	53	60	11	8	15	5	152
全体量	619	2,038	646	534	133	302	4,274
製紙原料	45	149	129	122	17	0	460
ボード原料	106	289	66	136	29	65	690
その他マテリアル	0	3	1	42	2	3	51
製紙・セメント等製造業	288	677	386	112	3	74	1,540
売電系発電	116	676	4	104	44	88	1,032
その他サーマル	4	65	42	0	6	51	167
堆肥	46	94	11	17	25	1	194
敷料	15	66	8	2	0	11	102
その他	0	20	0	0	7	9	36

出荷量より算出



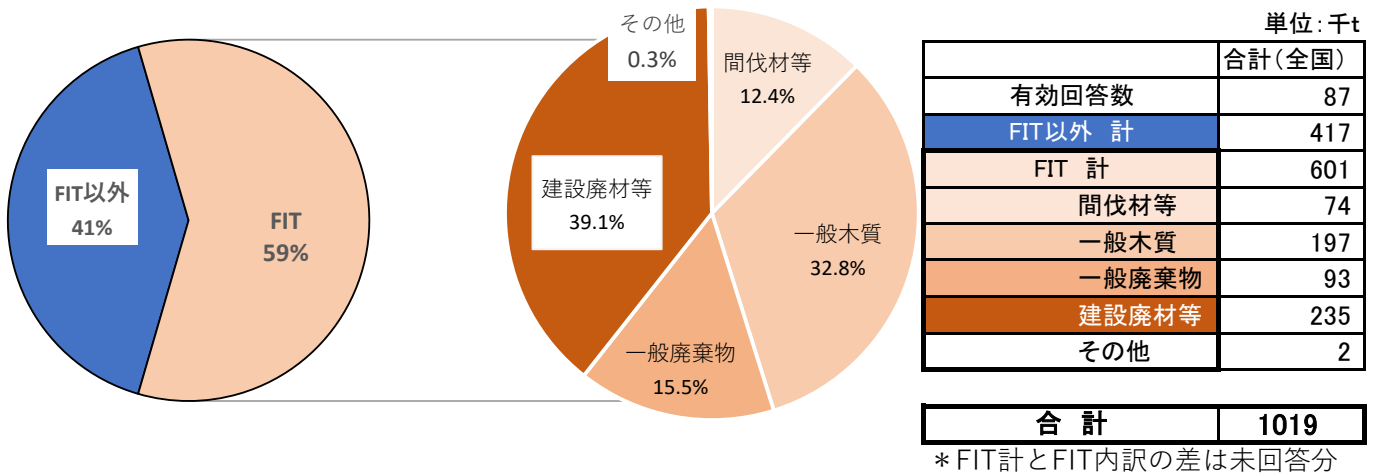
需要先の生産割合



H31

H30

売電系発電への販売現況



【メーカー又はユーザーへの要望事項】

- RPSボイラーの稼働状況と更新予定について情報共有をお願いしたい。(トラブルが多いユーザーが多いため)新しいボイラー計画もあるようであり、今後の燃料チップの流通について情報共有していただきたい。
- サーマル系建廃チップユーザーへの要望
 - ①一年を通じて均一な受け入れをお願いしたい。
 - ②品質を重視するのであれば、価格の格差をつけてほしい。
- メーカー: 木質チップの「製品」としての認識・教育。「二次処理コストの低減」としてではなく、他の製造業と同様であることを再度認識するべきと考えます。
- ユーザー: 安定稼働に伴う劣悪な生産体制のメーカーに対する対応を周知してほしい。

【連合会への要望事項等】

- 破碎チップの出荷先の確保を願います。
- FIT制度の運用開始に伴い、建廃チップの価値が下がりにつつあると認識しています。廃棄物由来のチップの価値を維持もしくは向上させる施策・調整について、国や関係機関と情報共有願いたい。
- 新規設備の設置、検討状況の情報はできるだけ早い段階で周知してほしい。
- コロナウィルス対策の具体例を調査し模範例があれば会員に公開していただきたい。
- 建築系廃材のFIT売電価格が高騰すると良いと感じます。

【新型コロナウイルスの影響（営業面・工場操業面・入出荷状況等）】

- (北日本)
- 製材所の動きが悪いため、敷料の原料が仕入れできなくなっている。
 - 入荷量は前年同期比で9%減少。民間及び個人の解体工事が特に減少している。山形県の新設住宅着工戸数は前年比▲30%ほどであり、建廃系の木くずは少ない。逆に生木の入荷は増加しており、総量として入荷はそれほど減少しなかった。また、入荷量以上にユーザー側の稼働率が低下したため、稼働・出荷調整を実施。(雇用調整助成金も活用)ボードメーカーはボード販売等が滞り、原料チップの受け入れを制限し、また、燃料チップを使用するユーザーからもボイラートラブルや稼働率減少等により受け入れ制限を受けたため、オガツ粉の稼働率を増加させて対応した。
 - 工事の延期や中止などで入荷の影響は多少ありましたが、最近は少しずつではあるが回復しつつあります。ただ業者さん全体に気のゆるみがあるのかマスク未着用の方が増えているのが気になる。
 - 全体的に、入出荷ともに下降傾向
 - 影響は少ない。
 - 搬入量が減っているが、搬出量も減っている(搬出可能量)。低レベルでバランスが取れている。
 - これまではほぼ影響は無いが、関係者のすべてが今後入荷減少が深刻化していくものと考えている。
- (関東)
- コロナの影響により、現場が動かず搬入量が減少している。
 - 入荷量が全く芳しくなく、非常に厳しい状況である。
 - 下請け解体業者の木造解体工事が大幅に減少し木くずの入荷量が大幅に減少しており、安定操業が困難になりつつある。
 - 入荷が安定せず低レベルで推移している為、出荷予定が組み辛い状況である。

- 令和2年7月で、約10パーセント減です。
- 4月以降は、建設現場の休止などにより数量は減少している。
- コロナウイルスの影響により、解体業者の動きが鈍く、搬入量・出荷量に影響があった。
- 若干の入荷量の減少はあるものの、現況で大きな影響は感じられない。
- 建設系木材の発生が乏しくなっていると体感している。
- 入出荷状況等: 出荷先からの増車依頼有
- 搬入量減少、操業面においては変化なし。全体的には発生減少に伴い、供給弱需要強という構図である。
- 入荷状況が前年対比2割ほど減少している。 営業面・工場操業面では影響なし。
- 4月以降、前年比80%位の入荷量。住宅展示場に人が来ていないので、今のままでは11月以降の解体工事が減るかもしれないとハウスメーカーの話があった。
- ・営業面→ 廃材搬入量減 ・工場操業面→問題なし
- 営業面・工場操業面で大きな影響なし
- 営業活動の自粛等、電話での情報収集を主に行うようになった。工場操業面では影響はないが、入荷状況は市況の廃材発生減の影響を少なからず受けていると感じる。
- 営業的には対面営業ができないので新規開拓に影響がある。工場の操業に影響はないが入荷は例年の7割程度に落ちている。
- 営業面では木くず排出事業者の休業があり、発生量が減り、木くず集荷に苦戦した。工場操業面では感染拡大防止策、社内での感染リスク低減策をしつつの操業となりましたが、そこまで大きな問題とはなっておりません。

- ・営業面: 原則、管理系部門等はテレワークの実施。訪問は先方の了承の上対応。工場は通常営業。
- ・工場操業面: 通常営業。対策として従業員の検温、消毒等対応の徹底。窓口での飛沫防止策、顧客対応(不要・不急)の制限。
- ・入出荷状況: 廃棄物の発生において、入荷量は減少傾向、当工場も約2割前後の影響が出ている。

- 2020年4月より営業面では外出対応が多少影響(先方担当も在宅対応の為) 業界自体にもよりますが、入荷量はそれほど影響はなく、工場操業面に関しては搬入前の受付時に消毒徹底、飛沫防止を徹底しており昨年度と比べれば、それほど影響は出ていないと思います。現状は、コロナウイルス以外に熱中症防止対応も行わなければならない状況の為、この時期の作業効率は低減するが許容範囲値と判断しております。
- 在宅勤務が始まりました。材の入出荷については、少しだけ落ち込んでいます。
- 本社の出勤を制限しました。

(東海)

- 工場操業面は影響なし。営業面・入出荷状況においては多少影響あり
- 製造業、特に飛行機関連の企業の排出量がほぼゼロになるなど大きな影響がある。工場の操業においては感染症対策及び熱中症対策で休憩時間を多めにとるなど稼働率が下がっている。委託契約やマニフェストの電子化を進めてコロナ対策を強化する必要がある。
- 入出荷は少し減っている
- 解体工事の減少により、材料入荷状況低調。
- 入荷・出荷、共に低調に推移しています。

(近畿)

- 入出荷量が1～2割程減っており、収益が悪くなっています。
- 入荷状況が低調
- 受入がR2年6月頃より前年度2～3割少ない。
- 解体及び伐採の工事発生が減少した為、入荷減少に伴い、工場操業面においても稼働率は減少している。
- 解体工事の減少により、材料入荷状況低調。
- ソーシャルディスタンスを心がけています。

(中四国)

- 工場操業面・入荷面では特に影響なし 出荷面では影響があった
- 住宅やその他の工事の減少により、入荷が減っている。出荷先が操業を縮小されて、出荷を止められている製品がある。
- 入出荷状況は微減している。
- 入荷量、出荷量ともに減少

(九州)

- 営業面: お客への訪問がやりづらい。 工場操業面: 特にない。 入荷状況: 今の所大きな変動はない。